

関西工学教育協会第86回研究集会

『新たな分野にチャレンジ：都市の熱環境・エネルギーシステムの研究・教育』

日 時：平成25年1月25日(金) 13:30～16:50

会 場：大阪市立大学 学術情報総合センター1階 文化交流室

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access#sugimoto> (地図)

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL 06-6605-2651 (工学研究科教務担当、笠川)

プログラム：

開会の辞 (13:30～13:40)

日野 泰雄 (大阪市立大学大学院工学研究科長)

会長挨拶 (13:40～13:55)

関西工学教育協会会長 久間 和生 (三菱電機株式会社常任顧問)

講演1 (13:55～14:45)

「都市の熱環境に関わる研究・教育」

西岡 真稔 氏 (大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

講演2 (14:45～15:35)

「都市の低炭素化を実現する熱エネルギーシステムの研究・教育」

中尾 正喜 氏 (大阪市立大学大学院工学研究科教授)

休憩 (15:35～15:55)

講演3 (15:55～16:45)

「都市の微気象を活かしたまちづくりに関わる研究・教育」

鍋島 美奈子 氏 (大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

閉会の辞 (16:45～16:50)

懇親会 (17:00～18:30)

会 場：大阪市立大学学術情報総合センター1階「ウイステリア」

会 費：3,000円

関西工学教育協会第 86 回研究集会

『新たな分野にチャレンジ：都市の熱環境・エネルギーシステムの研究・教育』

(趣旨)

地球の気候変動への取り組みとして、CO₂ 排出を抑制するために、エネルギー消費の抑制が求められている。その要請は、2011 年に起こった東日本大震災以降、原子力発電所の運転が停止され電力供給が逼迫する中で、一層切実なものとなった。日本のエネルギー消費の統計に依れば、民生部門の消費の伸びが近年続いており、都市生活と関わる分野でエネルギーの利用効率を高め、エネルギー消費の伸びを抑制することが重要となっている。一方、都市の気温はヒートアイランド現象によって上昇する傾向にあり、これに地球の温暖化が加わることで、都市のエネルギー消費を増大させ、居住環境を悪化させる懸念も高まっている。以上のような、都市と関わるエネルギーと熱の問題は、工学が取り組むべきフィールドとして重要性を増しているといえよう。

大学における従来の専門分野の枠組みでは、都市と直接関わる専門分野として、建築、土木工学分野がそれぞれ研究・教育を行ってきたが、先述のような都市スケールのエネルギーと熱の問題については、従来の枠組みを超えた取り組みが必要となっている。例えば、下水道の持つ熱エネルギーを回収して熱利用を行う技術を面的に展開するには、建築分野の空調設備や都市計画、土木工学分野の下水道工学、機械工学分野の伝熱工学などが密接に関連する。次代の都市の姿として描かれているスマートシティ・スマートコミュニティを実現するためには、更に電力や ICT (Information and Communication Technology) など広範囲の専門分野による緊密な連携が必要とされよう。本研究集会では、都市の熱環境・エネルギーシステムの研究課題について述べ、都市と関わる研究・教育の広がりについて考えたい。

お問い合わせ先：

大阪市立大学大学院工学研究科教務担当、笠川

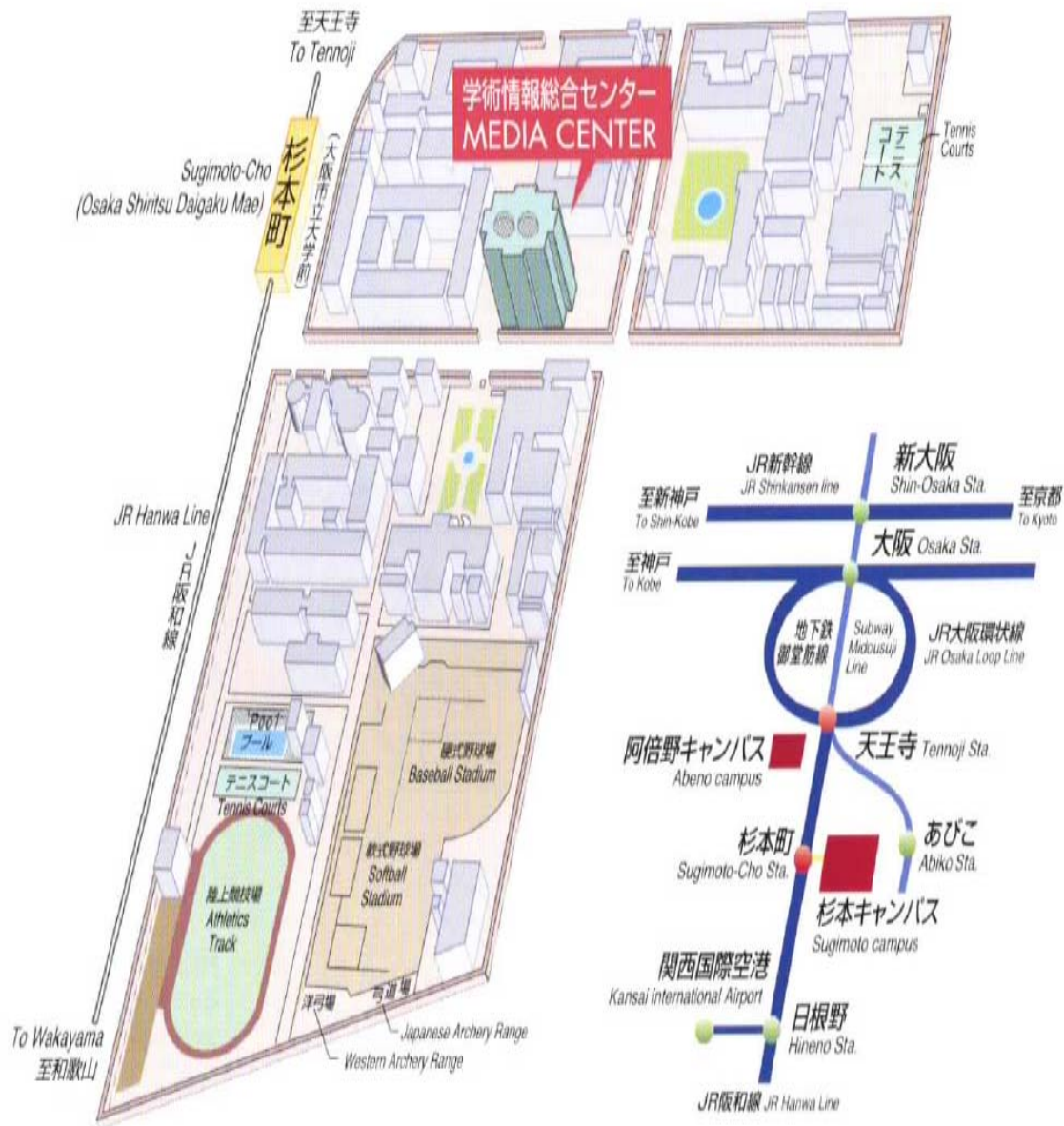
TEL 06-6605-2651 Fax 06-6605-3649

E-mail : kasakawa@ado.osaka-cu.ac.jp

関西工学教育協会第 86 回研究集会 会場へのご案内

(大阪市立大学 学術情報総合センター1階 文化交流室)

JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車(天王寺より約 15 分)、東口より徒歩約 5 分
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車(天王寺より約 9 分)、4 号出口より南西へ徒歩約 20 分



JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約 5 分

※杉本町駅は各駅停車の電車のみ停車します